

<b>ダイアジノン粒剤</b> <b>ダイアジノン粒剤 10</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興、日本化薬  <b>原体メーカー：</b> 日本化薬
<b>成分：</b> ダイアジノン〔有機リン系 PRTR・1種〕……………10.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒  <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- は種時、移植時の土壌処理でタネバエ、ネキリムシに効果を示す有機リン系殺虫剤ダイアジノンの高濃度粒剤で、散布する量が少なく省力的である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 生育期の全面散布で使用する場合は、薬剤が土壌表面に落下するよう散布する。
- 使用量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずる。
- ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、土壌表面散布で使用しない。

### 【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 水産動植物（甲殻類、ドジョウ、ボラ）に影響を及ぼすおそれがあるので使用時は注意。
- 比較的低濃度でも魚類に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用はさける。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意。
- 無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む 農薬の総使用回数				
あ　　ず　　き	タネバエ	3 kg	は種時	1　回	作条土壌混和	4回以内 (種子粉衣は1回以内, は種時の処理は 1回以内, 生育期の 処理は3回以内)				
豆　　類 (種実, 但し, だいず, あずき, いんげんまめ, らつかせいを 除く)						4回以内 (種子粉衣は1回以内, 粒剤は3回以内)				
だ　い　　ず						フタスジヒメハムシ	30日前まで	4回以内	無人ヘリコプター による散布 散布	6回以内 (種子粉衣は1回以内, 粒剤は5回以内 (生育 期の処理は4回以内))
						マメシクイガ				
え　だ　ま　め	タネバエ	は種時	1　回	作条土壌混和						
	ネキリムシ類	30日前まで	5回以内	土壌表面散布						
いんげんまめ	タネバエ	3～5 kg	は種時	1　回	作条土壌混和	3回以内 (種子粉衣は1回以内, 粒剤は2回以内)				
ほうれんそう						2回以内 (は種時及びは種前の土 壌混和は合計1回以内)				
だ　い　こ　ん はつかだいこん						3 kg	21日前まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内 (生育期は1回以内)
は　く　さ　い	ネキリムシ類	定植時	1　回	全面土壌混和	1　回					
キ　ャ　ベ　ツ				タネバエ	5 kg		土壌表面散布	2回以内		
レ　タ　ス	ネキリムシ類			は種時	作条土壌混和					
ね　　ぎ わ　　け　ぎ あ　さ　つ　き	タネバエ									
た　ま　ね　ぎ	タマネギバエ					定植時				
に　ん　じ　ん	ネキリムシ類	3 kg	は種時及び 生育期 但し, 収穫 90日前まで			2回以内	土壌表面散布	2回以内 (は種前及びは種時は 合計1回以内, 生育期 は1回以内)		
カリフラワー ブロッコリー			30日前まで	2回以内	2回以内 (粒剤の生育期の 処理は1回以内)					
芝			シバツトガ ケラ	発生初期	4回以内	散布	4回以内			